

未解決

未解決事件ファイル ・ 79-1142

灯台の 渡し船

メイン州ターン島・1979年10月

1～6人

2～3時間

資料35点

封印封筒3通

このファイルの使い方

あなたが捜査員です

1979年、ある灯台守が死んだ。郡はそれを事故と判断した。この箱には、残っている資料がすべて入っている。強調された箇所はなく、順番もばらばらで、中には関係のないものもある。

3通の封筒

まず**D**の付いた資料から始めます。封筒**A**の質問に答えられるようになったら封筒**A**を開け、最初のページで答え合わせをします。**B**と**C**も同じように進めます。

印刷について

片面で印刷してください。封筒**A・B・C**は別ファイルです。それぞれ読まずに印刷し、別々の封筒に封をしてください。**D**の資料はテーブルに広げましょう。一度に見渡せる資料が多いほど有利です。

ヒントなし

ヒントも刑事のメモ也没有。どの答えも、少なくとも2つの資料で証明できます。メモを取り、自分たちで時系列表を作り、議論してください。

質問

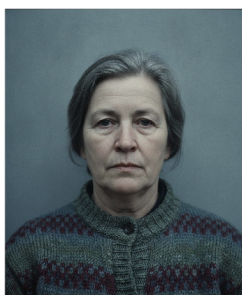
- A.** これは事故だったのか？ そうでないなら、サイラス・レンはどの時間帯に死亡したのか？
- B.** 犯人はその夜どうやって島に渡ったのか？ また、どんな名前を使ったのか？
- C.** サイラス・レンを殺したのは誰か、動機は何か、それを証明する物的証拠は何か？

関係者



サイラス・レン

1957年から沿岸警備隊との契約でターン岬灯台を守ってきた民間の灯台守。父親も同じ灯台守だった。58歳。1979年10月14日（日）に死亡しているのが発見された。



ノラ・レン

被害者の妻、51歳。島の郵便局の窓口を切り盛りしている。



デール・ブロディ

メアリー・エレン号の甲板員、34歳。自前のロブスター籠漁もしている。



イングリッド・ソレンセン

ガル・コテージを借りている滞客、29歳。画家だと名乗っている。



エヴェレット・ラスク

ボストンの不動産開発業者、45歳。ターン岬の土地を買いたがっていた。



トム・レン

被害者の息子、26歳。本土のポート・ウェスコットに住む。

箱の中身

D-01	事件の割り当て
D-02	事件報告書 – ノックス郡保安官事務所
D-03	検視官 – 所見の要約
D-04	灯台守日誌 – 10月12日（金）
D-05	灯台守日誌 – 10月13日（土）
D-06	灯台守への通達 – 灯器の時計仕掛け
D-07	沿岸警備隊グループ無線記録 – 10月13日～14日
D-08	メアリー・エレン号 – 時刻表
D-09	乗船名簿 – 10月13日（土）
D-10	供述 – ノラ・レン
D-11	供述 – デール・ブロディ
D-12	供述 – イングリッド・ソレンセン
D-13	供述 – エヴェレット・ラスク
D-14	供述 – トム・レン
D-15	潮汐表 – ポート・ウェスコット、1979年10月
D-16	沿岸水路誌 – ターン島への進入路（抜粋）
D-17	地図 – ターン島とポート・ウェスコット
D-18	ウェスコット・クーリエ紙 – 1979年10月16日
D-19	手紙 – ノースイースト・ミューチュアル生命
D-20	手紙 – S・レンより沿岸警備隊グループへ
D-21	現場写真 – 第1葉

封筒A・B・Cは封印されています。中身は一覧に載っていません。

メイン州警察 ・ 重大犯罪課 ・ 未解決事件再調査班

捜査員各位

1979年10月、ターン島のターン岬灯台で、灯台守サイラス・レンが塔の階段の下で死亡しているのが発見された。郡は転落事故と判断し、1週間足らずで捜査を終結した。

遺族の一人から再調査の依頼があった。当方に残っている資料はすべてこの箱に入っている。仕分けも書き込みも一切していない。

捜査は3段階で進めること。封筒は、その質問に答えられるようになるまで開けてはならない。

封筒A	これは事故だったのか？ そうでないなら、サイラス・レンはどの時間帯に死亡したのか？
封筒B	犯人はその夜どうやって島に渡ったのか？ また、どんな名前を使ったのか？
封筒C	サイラス・レンを殺したのは誰か、動機は何か、それを証明する物的証拠は何か？

A・コワルチク巡査部長

未解決事件再調査班

事件番号	79-1142
通報日時	1979年10月14日（日）・ 06:50（電話）
場所	ターン島、ターン岬灯台
通報者	ノラ・レン（妻）
対応者	H・メリット保安官補（ターン島駐在）（07:15 現着、徒歩）

死者は塔内の鉄製階段の下でうつ伏せの状態で発見された。灯室の扉は開いていた。塔の出入口の扉（岩棚側）は施錠されていなかった。こじ開けられた形跡はない。死者は灯器の時計仕掛けを巻くため、毎晩何度も階段を上り下りしていたことが知られている。階段は急で、すり減っている。

妻の供述によれば、夜間に沿岸警備隊から灯台の灯が消えているとの連絡があった。妻は夫が暗闇で転落したものと考えている。

処理：事故死。検視官に送付。これ以上の措置なし。

H・メリット保安官補 #31

D-03 検視官 — 所見の要約

死者	サイラス・アボット・レン、58歳
検視	1979年10月15日、ロックランド

1. 頭蓋骨左後部に陥没骨折2か所。間隔は約3cm。いずれもほぼ円形で、直径約2.5cm。
2. 前腕、すね、顔面に多数の擦過傷。階段からの転落と矛盾しない。
3. 左手首の骨折。
4. 血中アルコール：検出されず。
5. 胃の内容物：紅茶、パン、魚。体温と死後硬直から推定した死亡時刻：10月13日22:00から10月14日02:00の間。

所見：負傷は転落と矛盾しない。頭蓋骨の骨折が2か所あるのは1回の転落としては珍しいが、階段の角に2度ぶつかった結果である可能性がある。

R・チャンドラー医師

D-04 灯台守日誌 — 10月12日（金）

時刻	記録
06:48	日の出で消灯。時計仕掛け停止。レンズ清掃。
09:00	南西の風、10。ブロディの籠がまた航路標識の内側に。今月3度目。グループに手紙を書くこと。
17:30	点灯。時計仕掛けを巻く。
21:30	時計仕掛けを巻く。視界良好。
01:30	時計仕掛けを巻く。薄霧。

時刻	記録
----	----

05:30	時計仕掛けを巻く。霧が晴れてきた。
-------	-------------------

06:49	日の出で消灯。時計仕掛け停止。
-------	-----------------

10:15	ラスク氏、また書類を持って番小屋に来る。前と同じ返事をした。ひどく不満げだった。
-------	--

17:30	点灯。時計仕掛けを巻く。北西の微風。
-------	--------------------

21:30	時計仕掛けを巻く。晴れ、寒い。
-------	-----------------

23:10	小舟が岬を回ってくる。航海灯なし。船着き場の方へ向かう。船外機。
-------	----------------------------------

23:30	灯を点検。よく灯っている。
-------	---------------

米国沿岸警備隊 ・ 第1管区 ・ 航路標識部

ターン岬は、第1管区で今なお当初の重錘式時計仕掛けでレンズを回している最後の灯台の一つである。電動駆動装置は1977年に故障し、自動化までは交換されない。該当する灯台の灯台守に以下を改めて通達する。

1. 1回の完全な巻き上げで、レンズは約4時間10分回転する。重錘が床に達するとレンズの回転は止まり、灯質が失われる。その場合は消灯として報告しなければならない。
2. 時計仕掛けは点灯時から4時間ごとに例外なく巻き上げ、その都度日誌に記録すること。
3. 各灯台は自動化が予定されている。検査官が予告なく訪問することがある。

時刻	交信
22:40	漁船キティウェイク号、ポート・ウェスコットを出港。夜通しターン島東方で操業。
01:52	漁船キティウェイク号より報告：ターン岬灯台の灯が見えない。
02:10	ターン岬の番小屋に電話。応答なし。
02:40	航行警報を放送：ターン岬灯台消灯。
06:15	島の郵便局のN・レン夫人に電話。灯台守の様子を見に行くよう依頼。
07:30	ノックス郡保安官より連絡：灯台守死亡。

メアリー・エレン号 ・ ポート・ウェスコット - ターン島 ・ 秋季ダイヤ

ポート・ウェスコット発	07:00 ・ 15:30
ターン島発	08:00 ・ 17:30
所要時間	約40分

メアリー・エレン号は夜間はポート・ウェスコットに停泊する。10月1日以降、夕方以降の便はない。乗客は乗船名簿に署名すること。

メアリー・エレン号 ・ 乗船名簿

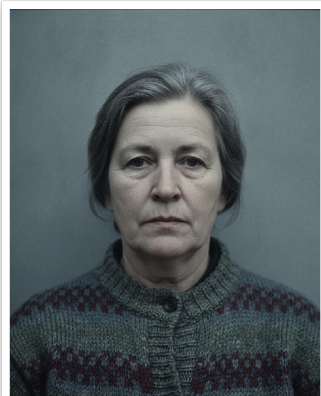
07:00 ポート・ウェスコット発

- 1 E・ラスク — ボストン
- 2 M・ホリス — ターン島
- 3 トム・レン — ポート・ウェスコット
- 4 （貨物：郵便袋12、軽油ドラム缶2）

17:30 ターン島発

- 1 E・ラスク
- 2 トム・レン
- 3 R・ペッティンギル、J・ペッティンギル
- 4 M・ホリス

乗組員：W・エイムズ船長、D・ブロディ甲板員。

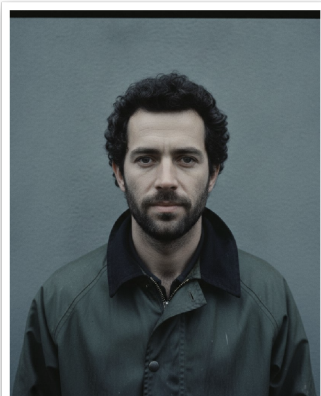


私たちは村の郵便局の家に住んでいます。シーズン中、サイラスは岬の、塔の下にある小さな番小屋で夜を過ごします。灯台の電話はそこにあるんです。私は10時ごろに寝ました。何も聞こえませんでした。岬は郵便局の家から半マイル離れていますし、風は陸から吹いていましたから。

6時15分に沿岸警備隊から電話がありました。海沿いの道を歩いて行って—10分ほどです—階段の下で倒れている夫を見つけました。店まで走って戻り、7時10分前に保安官補のハロルド・メリットさんに電話しました。

ラスクさんは1年も前から、岬を売れとサイラスに迫っていました。サイラスは売ろうとしませんでした。父親の、その前は祖父の土地でしたから。私はラスクさんに、決めるのはサイラスで、私ではないと言いました。

ええ、保険には入っています。トムが生まれたときに入ったんです。



メアリー・エレン号をポート・ウェスコットにつないだのが6時15分ごろだ。家に帰って晩飯を食って、女房とテレビを見て寝た。島には近づいてもいない。

サイラスとは籠のことで意見が合わなかった。俺のことで手紙を書いてたしな。だからって人を傷つける理由にはならない。

俺の船？ サリーB号か？ 誰にでも聞いてくれ。今週はずっと造船所に置きっぱなしだ。



絵を描くために、ガル・コテージをひと月借りています。土曜の朝、塔をスケッチしようと岬まで歩いて行ったら、塔の下の小さな番小屋で男の人が二人、怒鳴り合っているのが聞こえました。一人は灯台守さん。もう一人は紺のブレザーを着た背の高い男性で、島にはまるで似合わない、ずいぶん洒落た格好でした。

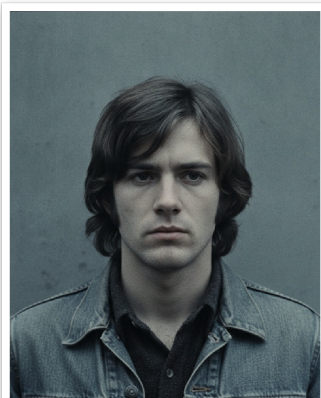
その夜はコテージにいました。11時ごろに一度、星を見に外へ出ました。そのときは灯が回っていました。船は見えていません。12時ごろに寝ました。



朝の船で島に渡り、ターン岬の土地について、レン氏に最終的な買い取りの申し出をしました。きわめて気前のよい額です。氏は断りました。私は落胆しましたが、腹は立てていません。

17:30の船で戻り、ハーバー・インにチェックインして、一晩中部屋で数字を見直していました。10時には床に就いていました。翌朝は早くに約束がありました—日曜に町政委員長と朝食をとることになっていたのです。そのまま月曜まで滞在し、それから車でボストンに戻りました。

私は身長6フィート3インチですよ、巡査部長。夜中に灯台の階段をよじ登ったりはしません。



母さんに会いに日帰りで島へ行って、5時半の船で戻った。ラスクと同じ船だ。あいつは船尾に座って誰とも口をきかなかった。

夜は酒場〈アンカー〉にいた。町のあちこちに借金があるのは、ごまかすつもりはない。その朝、そのことで親父と言い合いになった。でも、追い出されるまでずっと酒場〈アンカー〉にいたんだ。

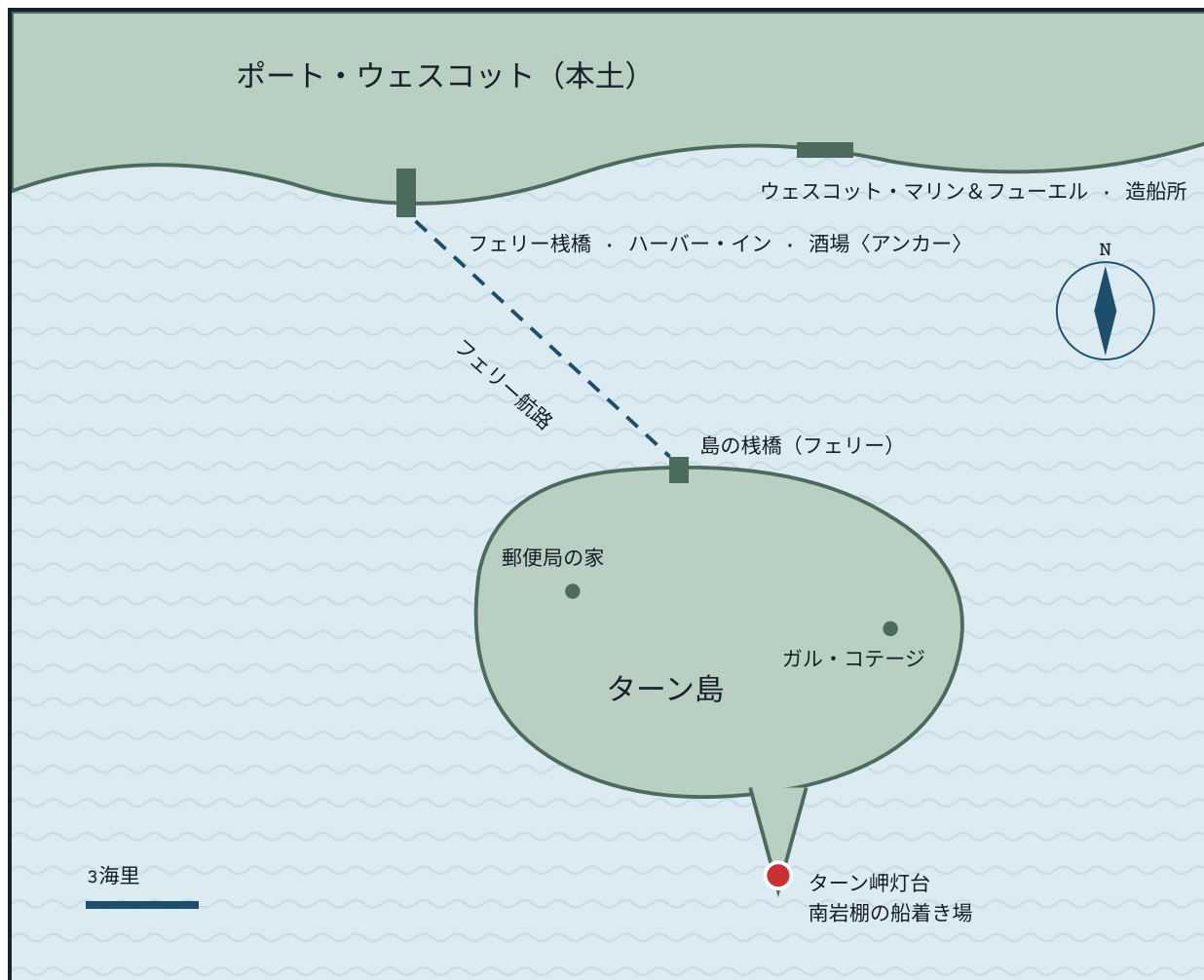
日付	満潮	干潮	満潮	干潮
12日（金）	04:02	10:14	16:25	22:31
13日（土）	04:51	11:03	17:14	23:20
14日（日）	05:40	11:52	18:03	—
15日（月）	00:09	06:29	12:41	18:52

時刻は東部夏時間。潮高は省略。

ターン岬船着き場。岬の南側、塔の下にある岩棚。小型船のみ、干潮の前後およそ2時間以内に限り使用可能。それ以外の潮時には、うねりが岩棚を越えて碎ける。

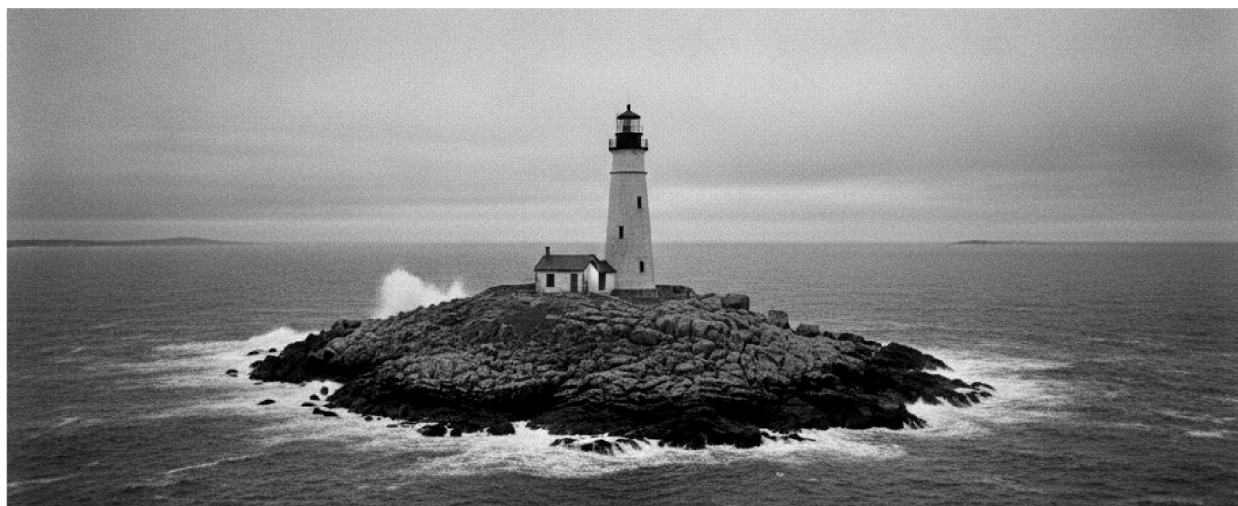
距離。ポート・ウェスコットからターン岬まで、船外機付きの小型船で、好天時約50分。メアリー・エレン号は北岸の島の栈橋を使用し、岬には寄らない。

灯火。ターン岬灯台、10秒ごとに白色閃光、光達距離14海里。



ウェスコット・クーリエ

ターン岬の灯台守、転落死



22年間ターン岬灯台の灯台守を務めてきたサイラス・レンさん（58）が、日曜未明、灯台の塔内で転落し死亡した。

ハロルド・メリット保安官補によると、レンさんは灯器の世話をしている最中に鉄製の階段で足を踏み外したとみられる。日曜の午前2時少し前、漁船から灯台の灯が消えているとの通報があった。

レンさんには妻ノラさんと、ポート・ウェスコットに住む息子トーマスさんがいる。沿岸警備隊は、同灯台を来年自動化すると発表している。

島のその他の話題：11月の町民集会で、町政委員会はボストンの開発業者エヴェレット・ラスク氏による南岸の夏用コテージ建設案を審議する。

ノースイースト・ミューチュアル生命保険 ・ ポートランド

レン様

サイラス・A・レン様を被保険者とする保険証券44-10937に基づくご請求を受領いたしました。本保険の保険金は20,000ドルで、事故死の場合は倍額の40,000ドルとなります。郡の判断を受領しだい、お支払いいたします。

拝啓

ポート・ウェスコットのD・ブロディが所有するロブスター漁具が、ターン岬沖の航路標識の内側に仕掛けられ、進入路をふさいでいる件について、3度目の報告をいたします。本人には2度注意しました。グループとしてこの件を取り上げていただくようお願いいたします。

敬具 灯台守 S・A・レン



写真1 — 塔の階段、下から見上げたところ



写真2 — 灯室、08:40。巻き上げ用クランクがフックに掛かっていない。

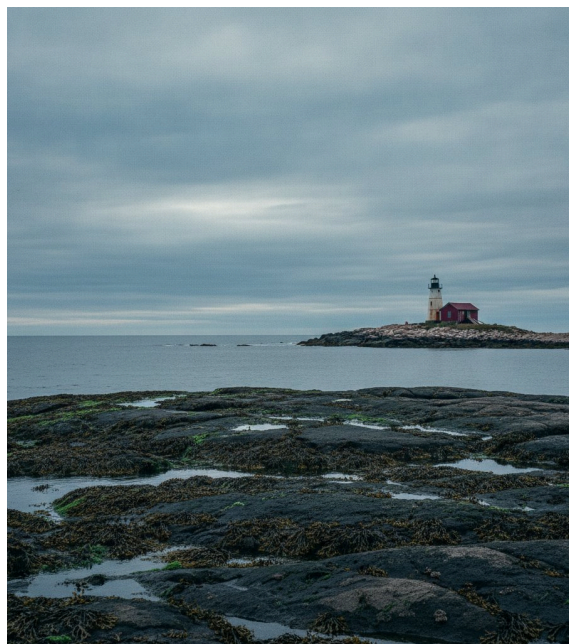


写真3 — 塔の下の南岩棚の船着き場、日曜の干潮時

捜査ワークシート

自分たちで時系列表を作ってください。1979年10月13日（土）→10月14日（日）。

17:00

18:00

19:00

20:00

21:00

22:00

23:00

00:00

01:00

02:00

03:00

04:00

05:00

06:00

07:00
